

## 「ポーランド国際大会を終えて」

専修大学 野田颯太

この度は、日学連アゴラにおいて掲載していただけますこと、誠に感謝いたします。

今回、ポーランド国際大会に参加させていただいて、私はとても貴重な経験ができ、競技力はもちろん、人間力が向上したと思います。私は初めての海外での試合だったので、試合をさせてもらえる喜びと不安でいっぱいでした。実際、ヨーロッパでの試合ということで、長時間の移動で体のコンディションの調整が難しく、メンタル的な気疲れもありました。しかし、日本のチームの方々をはじめとする、他の国の方々やホテルの方々、大会運営に関わって頂いた全ての人のサポートのおかげで、不安も忘れ去るくらいとても充実した時間を過ごすことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

試合や練習をする中で、自分に足りない技術や戦術面の課題、そして、さまざまな戦型や球質に対応していくことの重要性を学ぶことができました。海外での試合で一番大事なのは対応力であり、試合を重ねるごとにその力を向上させることができましたと感じています。また、言語が通じないからこそ、礼儀やスポーツマンシップなどの人間力が大切であり、国際交流の場や試合の時に、その点で人間的にとっても成長できたと感じています。

今回の海外遠征で得たことを今後の自分の人生に活かしていきたいと思います。このような経験をさせていただき、心から感謝申し上げます。